

令和6年度 福祉機器専門職員研修会実施要綱

- 1 目的
福祉機器の使用についての指導等に必要な専門的技術を習得させることを目的とする。
- 2 主催
国立障害者リハビリテーションセンター
- 3 期間
令和6年7月29日（月）～7月31日（水）
- 4 場所
国立障害者リハビリテーションセンター学院（埼玉県所沢市並木4丁目1番地）
- 5 受講定員
80名
- 6 受講資格
・身体障害者更生相談所に勤務する身体障害者福祉司等の職員及び市（区）町村、福祉事務所、社会福祉施設、医療機関等において福祉機器相談等を担当している専門職員
- 7 研修内容
別添日程表のとおり
- 8 受講手続
受講希望者は、国立障害者リハビリテーションセンター学院ホームページ（下記 URL）にアクセスし、申込案内に従いお申し込み下さい。
URL:http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/schedule_2024/
受付終了後、送信いただいたメールアドレス宛に受講申込受付のメールを返信しますので、必ずご確認ください。3 開庁日以内に確認メールが届かない場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。
- 9 申込締切
令和6年6月28日（金）17:00
- 10 研修会費用
2,500円（初日に現金徴収する。なお、宿泊費及び食費は含まない。）
- 11 受講可否通知
令和6年7月9日（火）までに、受講申込書に記載いただいたメールアドレス宛に受講可否の通知をいたします。なお、期日を過ぎても受講可否通知が届かない場合は、下記の連絡先までお問い合わせください。
- 12 修了証書
研修会全日程を修了した方に対し、修了証書を授与します。
遅刻早退等があった場合、修了証書を授与できないことがありますのでご注意ください。
- 13 その他
 - ①お申し込みの際は、お名前の文字等正しくご入力ください。なお、申し込み後の入力事項の誤りに気づかれた場合は、下記連絡先へご連絡ください。
 - ②研修会初日の受付時に、上記研修会費用をお支払いいただきますので、釣り銭のないようご協力ください。
 - ③本研修会に関する照会は、国立障害者リハビリテーションセンター学院にお願いします。

- ④終了時間は、プログラムの進行上延長もしくは変更される場合があります。
- ⑤一部受講は受付しておりません。
- ⑥会場（国立障害者リハビリテーションセンター）敷地内では、新型コロナウイルス感染症による重症化リスクが高い方も一部入院・生活していることから、新型コロナウイルス感染症防止対策として、会場内ではマスクの着用を原則とします。

【本研修会の連絡先等】

〒359-8555 埼玉県所沢市並木4丁目1番地

国立障害者リハビリテーションセンター学院 研修担当

TEL04-2995-3100（内線2612） FAX04-2996-0966

電子メール：kenshu1@rehab.go.jp

URL <http://www.rehab.go.jp/College/japanese/kenshu/>

令和6年度 福祉機器専門職員研修会日程表

月 日	午 前	午 後
7月 29日 (月)	<p>受付 (9:00~9:35)</p> <p>開講式・オリエンテーション (9:40~10:00)</p> <p>① 補装具費支給制度等の動向について (10:00~11:00) 厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 企画課自立支援振興室 福祉用具専門官 徳井 亜加根</p> <p>② 小児筋電義手 (11:10~12:00) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 主任作業療法士 木村 麻美</p>	<p>③ 身体障害者更生相談所概論 (13:00~14:30) 宮城県リハビリテーション支援センター 技術副参事兼技術次長 西嶋 一智</p> <p>④ 補聴器と聴覚障害者に対する福祉用具 (14:40~16:10) 国立障害者リハビリテーションセンター病院 副院長 石川 浩太郎</p>
30日 (火)	<p>④ 身体障害者が使用する自動車 (9:00~9:50) 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局第二自立訓練部肢体機能訓練課 自動車訓練室 機能訓練専門職 遠藤 明宏</p> <p>⑤ 頸椎損傷者の体温調整と福祉機器(10:00~10:50) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 障害工学研究部生体工学研究 室長 三上 功生</p> <p>⑥ 移動用リフト (11:00~12:00) 福祉技術研究所株式会社 代表取締役 市川 洸</p>	<p>⑦ 言語障害関連の福祉用具 (13:00~14:30) 国立障害者リハビリテーションセンター学院 言語聴覚学科 主任教官 下嶋 哲也</p> <p>⑧ 福祉機器の開発・利活用の基本的な考え方 (14:40~15:30) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室長 井上 剛伸</p> <p>⑨ 車椅子(手動・電動車椅子)・座位保持装置 (15:50~17:20) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部福祉機器臨床評価研究室長 白銀 暁 国立障害者リハビリテーションセンター病院 リハビリテーション部 主任理学療法士 別役 訓子 主任理学療法士 市川 眞由美</p>
31日 (水)	<p>⑩ 視覚障害に関連する福祉用具について (9:00~10:30) 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局 視覚機能訓練課 (講師は調整中) 国立障害者リハビリテーションセンター学院 視覚障害学科 主任教官 丸山 華子 視覚障害学科 教官 河原 佐和子</p> <p>⑪ 頸髄損傷者に用いる自助具 (10:40~12:10) 国立障害者リハビリテーションセンター 自立支援局第二自立訓練部肢体機能訓練課 作業療法士長 水谷 とよ江</p>	<p>⑫ 義肢・装具 (13:10~14:40) 国立障害者リハビリテーションセンター学院 義肢装具学科 主任教官 星野 元訓</p> <p>⑬ 認知症のある人の福祉機器展示館見学 (15:00~15:30) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所 福祉機器開発部福祉機器開発室長 井上 剛伸 福祉機器開発部 川崎 めぐみ</p>

※ 講師の都合により講義時間等が変更する場合があります。